

戦略項目	
広報戦略	
内容	
創価教育の理念と実践を社会に広く発信するため、教職員・生徒が多様な形で情報発信に参加する全員広報体制を構築し、広報意識の醸成を図る。未来部・卒業生・保護者との継続的なネットワーク形成を推進するとともに、教職員間での広報事例共有により、組織全体の情報発信力を高める。入試面では、区分・評価方法の多様化によって受験機会を拡充し、情報の積極的な開示と受験生サポートの充実により、志願者との継続的な関係づくりを通じた安定的な志願者確保を目指す。	
年度	取り組み状況
2025年度	創価教育の社会発信強化では、関西でのギネス世界記録への挑戦という象徴的な取り組みが実現し、東西合計7件のプレスリリース発信を通じて各種メディアへの掲載も相次いだ。InstagramとYouTubeの両SNSでもフォロワー・登録者数の拡大が着実に進んだ。 広報活動の組織的展開と関係構築の強化では、東京では地域ネットワークを活用した創価教育フェアの実施、関西ではnoteを活用した学校新聞の配信体制確立など、東西それぞれで継続的な情報発信の仕組みが整った。 入試制度の最適化と志願者の安定的確保では、東西ともに入試区分・評価方法の多様化を積極的に推進した。関西では全校種で志願者数が前年を上回り、イベント参加者から出願への転換率も着実に向上するなど、関係構築の取り組みが具体的な成果として表れている。東京では継続的な入試制度のアップデートが進められ次年度に向けての新たな入試制度も立案された。
2026年度	
2027年度	
2028年度	
2029年度	
2030年度	

達成度：A...100% B...80% C...60% D...40% E...20% F...未達成

戦略項目				
広報戦略				
年度達成度（全体）	2025年度	B	2029年度	
	2026年度		2030年度	
	2027年度		最終達成度	
	2028年度			

項目				
創価教育の社会的認知と理解の拡大				
年度達成度	2025年度	B	2029年度	
	2026年度		2030年度	
	2027年度		最終達成度	
	2028年度			

項目				
広報活動の組織的展開と関係構築の強化				
年度達成度	2025年度	C	2029年度	
	2026年度		2030年度	
	2027年度		最終達成度	
	2028年度			

項目				
入試制度の最適化と志願者の安定的確保				
年度達成度	2025年度	A	2029年度	
	2026年度		2030年度	
	2027年度		最終達成度	
	2028年度			